

東日本被災地応援

はがき

# 播州弁・石巻弁元気メール 復興支援俳句・イラスト展

姫路から  
東北支援

平成24年5月15日(火)~20(日)

10時~17時(最終日15時)

イーグレひめじ地下1階展示室



毎年大人気  
ハッピーオーラで元気な似顔絵！

## 似顔絵コーナー

1枚1,000円(一部義援金として寄付いたします。)

姫路在住漫画家 **前田賢一**  
ペンネーム：つるんづマリー

期間中  
毎日実施！  
予約してね

## みんなで「元気メール」送riませんか？

### 元気メールって？

…1995年神戸の仮設住宅に向けてはじまった、ハガキを使った新しい絆を作る心のメッセージ。17年経った今も新しいつながりを作り続けています。

### 企業様の応援も待ってまーす。

ひと口 8,000円 (50枚) 元気メール用往復はがき 企業名入りで協賛できます。

### 特別記念講演会

### 「元気メールについて」

5月19日(土)13時30分~

NGO「アジアアフリカ環境協力センター(アセック)」理事長

瓜谷幸孝さん



主催 / NPO法人コムサロン21 播州弁研究会 兵庫県西播俳人協会 姫路市民プラザ  
お問い合わせ 姫路市下寺町43 姫路商工会議所新館4F コムサロン21事務局内  
TEL .079-224-8803 FAX .079-224-1553

後援 / 神戸新聞社



特別記念講演会  
「元気メールについて」  
5月19日(土)13時30分～

瓜谷幸孝さん

瓜谷幸孝／神戸市垂水区のNGO「アジアアフリカ環境協力センター(アセック)」理事長。1990年にボランティア活動開始、世界17カ国の被災地に支援物資として、のべ1万2000トンの食料、衣料、救急車、消防車などを主催し送る。阪神淡路大震災の翌日、中国やモンゴルなど12カ国の友人らから支援の連絡が。「今度は自分たちが支援する番」との言葉に生きる気力が湧く。自身の震災、仮設住宅での経験から様々なボランティア活動を精力的に手がける。中でも日本全国に呼びかけて人と人を繋げてきた「元気メール」は17年目。東北支援でも新たな「繋がり」に活躍している。

●経歴

1947年神戸市に生まれる。  
1977年有限会社ワールドエース社を設立。  
1993年国際交流ボランティア組織「アジアアフリカ環境協力センター(アセック)」を設立。  
1995年阪神・淡路大震災の被災者に対し「元気メール※」活動を開始。  
※相次ぐ仮設住宅での孤独死を避けるため、被災されたお年寄りに日本全国・海外から寄せられた便り(元気)を配り続ける。  
1998年モンゴルのマンホールチルドレンのための里親支援制度を始める。  
1999年不登校の子供達の視野を広めようと「モンゴル語」教室を開講。

●主なACECの海外支援活動

ザイール(1990～)、中国(1991～)、モンゴル(1992～)、ケニア、インド(1993～)、ネパール(1994～)、ロシア、タイ(1995～)、コロンビア、トルコ(1999)、ニカラグア、ベトナム、バングラディシュなど。  
・1992年アフリカ・ザイール政府より、文化功労賞受賞。  
・1994年中国福利基金会より、国際協力賞受賞。  
・1995年タイ政府より、国際支援協力賞受賞。  
・1997年モンゴル赤十字より、モンゴル十字勲章受章。  
・1998年モンゴル大統領より、平和友好勲章受章。  
他多数。

# 姫路

映像提供、身近な話題、生活情報。下記へご連絡ください。

■姫路支社■  
〒670-0964 姫路市豊沢町78  
編集部 TEL:079-281-1125 FAX:079-281-9277  
e-mail:himeji@kobe-np.co.jp  
営業部 TEL:079-281-1124 業務部 TEL:079-281-1122

■神崎支局  
TEL:0790-22-0045 FAX:0790-22-6659

読者サポートセンター(月～土) TEL:078-362-7056 10:00～17:30

## 播州弁のぬくもり被災地へ

# 「おんまぐちばってよ」

べつちよないですか。東日本大震災で被害を受けた宮城県石巻市の仮設住宅で暮らす被災者に、播州弁のはがきを送り、石巻弁で返信してもらう計画を、姫路市の市民団体「播州弁研究会」などが進めている。方言を使うことで、地域色だけでなく、気持ちの微妙な意味合いを伝え合い、交流する。はがきを書き催しを5月に開く。  
(青山真由美)

会員で姫路市在住の漫画家前田賢一さん(36)が年末年始、神戸の市民団体とともに石巻市の仮設住宅を訪ね、年賀状を手渡したことがきっかけ。前田さんは方言を理解できず「意味が分かれれば、より深く被災者の思いを知ることができるとは」と思った。同行の神戸の団体が被災地を応援するはがき「元気メール」を出す活動をしてきたことから、播州弁による同様の活動を研究会に提案。会が毎年、播州弁川柳を展示発表する5月に、支援の取り組みをすることになった。

### 5月15～20日 応援はがき作成催し

5月15～20日午前10時～午後5時、姫路市本町

のイクレひめじに往復はがき千通を用意。賛同者は「おんまぐち(力いっばい)きばってよ(がんばってよ)」などと、播州弁と意味を添え、住所と名前を書く。はがきは前田さんらが石巻市に持参する。

会長の井上四郎さん(85)は「播州弁は荒っぽいと言われるが、実はぬくもりがある。思いのこもったメッセージを伝えよ」と呼び掛ける。参加無料。

同時に、播州弁による被災地応援俳句も募集。色紙に俳句と、前田さんが描いたイラストを添え石巻市に贈る。1句千円(色紙代など)。4月15日締め切り。NPO法人コムサロン21 ☎079-224-8803



播州弁で東日本大震災の被災地支援をはがきと色紙を送る準備を進める井上四郎さん(右)と前田賢一さん(左)が姫路市内

# 東北被災地応援俳句募集

## あなたの俳句を被災地へ!!

東日本の復興支援の一助としてイラスト俳句（色紙）を届ける計画です。  
何卒ご協力をお願いします。

- ◇ 激励作品 1句千円を添え下記へお送り下さい。
- ◇ 〒670-0883 姫路市城北新町1-14-11 井上志朗 宛  
電話 079-222-5613
- ◇ 応募締切 4月15日(日) 季語自由 出句用紙自由 <何句でも可>
- ◇ イラスト画は姫路漫画家 前田賢一氏に依頼
- ☆ 作品色紙は5月15日(火)～20日(日) 姫路イーグレ地下1Fで展示  
(10:00～17:00) 終了後被災地へお送りいたします。
- ☆ 記念講演 5月19日(土) 瓜谷幸孝氏 神戸 東北復興支援リーダー  
NGO「アジアアフリカ環境協力センター」理事長 (13:00～) 展示場

### 【例画】

